

児童発達支援事業に係る自己評価結果公表用

公表日：令和2年12月22日

事業所名：榎の木園

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価				保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	個人療育では1家族1室を確保し、グループ療育は3～5家族以内になるようにしている。	24	1			遊びの内容によっては狭く感じることもあるが、ほぼ十分なスペースが確保できているので随時工夫して対応していきます。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	児童発達支援管理責任者が、療育の状況の把握に努め、保育士、公認心理師を配置している。	23		1	1	採用段階で保育士・教員・公認心理師等の資格を有する者を採用しているが、言語聴覚士の資格のある方がいない現状である。不定期にでも来てもらえるよう検討したい。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい環境になっているか。また、障害の特性に応じ、設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	個人とグループで使用する部屋をわかりやすく区分し、グループでの設定保育では、内容や流れを一定にしわかりやすくしている。	25				場所や時間の情報を分かり易く視覚化し理解を深めることが療育の基本と考え、保護者の方にも協力して頂き、これからも分かり易い環境設定をめざします。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	個人とグループで使用する部屋をわかりやすく区分し、グループでの設定保育では、内容や流れを一定にしわかりやすくしている。	25				
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	職員全員で意見を出し合い改善すべきことは速やかに改善している。	/				継続して取り組んでいきます。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	現時点では行っていない。	/				必要な時は実施を検討する。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	積極的に推進している。	/				継続して取り組んでいきます。
			24	1			

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価				保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
適切な 支援の 提供	1	子どもと保護者のニーズや課題がしっかりと分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	初めに面接を行い成育歴や、今までの経緯と現状を知った上で、子どもの状況を把握し、保護者の要望と合わせて支援計画を立てている。	<ul style="list-style-type: none"> ・しっかりと話を聞いて下さり、以前話したことも覚えて下さっていたので嬉しかった ・先生が子どものことをよく見て考えてくれているのが伝わってきます。 ・子どもの事をよく見て計画されていると思う。 				これからも、保護者や本人のニーズに対応できるよう、定期的に現状の評価を行い、必要に応じて見直すようにします。
	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせた児童発達支援計画の作成	必要に応じ作成している。	/				継続して取り組んでいきます。
	3	児童発達支援計画には、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	支援計画を作成する際に、子どもへのアプローチの仕方を具体的に記載している。	24	1			支援計画には具体的な支援方法を示すようにしています。また保護者のご意見は、可能な範囲で取り入れていけるよう検討します。
	4	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	担当者と管理責任者が、意見交換し適切に支援を行っている。 グループ療育では、子どもが「させられている」と思わないよう配慮し、他児への興味が芽生えるように考え、療育方針を伝えている。	22	3			定期的に保護者の方と支援計画の内容と現状についての評価をする機会を持つようにしています。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	担当者を中心に全員で立案している。	/				継続して取り組んでいきます。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	休日の過ごし方を保護者と共に考える支援を行っている。	/				継続して取り組んでいきます。
	7	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	プログラムを固定化することで落ち着いて取り組んでいる場合もあります。 子どもの様子を見ながら無理なくたのしめるよう、必要に応じてプログラムを考えている。	16	6	2	1	個々の子どもによっては、変化を楽しめる場合もあるが、混乱をしてしまうこともあるため、グループ全体の様子と個々の子どもたちのニーズを検討しプログラムを考えていきます。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	必要に応じ確認している、	/				継続して取り組んでいきます。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	その都度行っている。	/				継続して取り組んでいきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価				保護者の評価を踏まえた改善目標・内容				
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない					
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施					継続して取り組んでいきます。				
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し					年間2～3回のモニタリング会議を持ち、必要に応じ見直している。				継続して取り組んでいきます。
関係行政機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画					継続して取り組んでいきます。				
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施									
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備									
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有					保護者の希望により連携を行っている。				継続して取り組んでいきます。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、					必要に応じ対応している。				継続して取り組んでいきます。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進					機会があれば参加を促進している。				継続して取り組んでいきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価				保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	
7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	同一敷地内に保育園があるが、限られた療育時間内で交流時間を設けることは困難。	8		12	5	現在のプログラムでは実現できない状況です。療育時間以外で、通園児がそういう機会に参加できるように、保護者の方の相談にのり、サポートをしていきます。
	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	現在行っていない。	/				
保	1	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	24	1			入園前に必ず説明の時間を持ちます。
	2	児童発達支援計画を示しながら、支援内容の説明がなされたか	24				随時必要な時に説明をしていきます。
	3	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニングiv等)が行われているか	17	1	1	6	保護者同室の療育の中で、保護者の方にアドバイスしていることがペアレントトレーニングの一環であると考え行っています。
	4	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	26				保護者同室の療育であり、その目的の一つが子どもの現状の共通理解と考え、子どもの前でも話し合えるよう考慮しています。
		職員間で保護者支援について話し合い、必要な場合は保護者支援の担当者を配置、更に、申し出があれば相談に応じている。					・プログラムについてよく分からない。したことがない。 ・その都度、お母さん達にアドバイスされていると思います。 ・親としての接し方などは教えていただいています、それがプログラムかどうかの判断が付きません。 ・子どもの行動で、理解し難いことを先生の特性や性格を踏まえて気持ちや行動の理由を推察し、どう対応すれば良いのか教えて下さる。
		保護者同室で一緒に遊ぶ中で、子どもの様子を話し合い理解を深め、適切な支援を共に考えている。					・担任の先生は必要以上に理解してもらえて感謝しています。 ・家庭での様子なども聞いてくれていつでもアドバイスをしてくれる。 ・子どもの前で話をすることに抵抗がある。自己肯定感、自尊心に影響しないか不安

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価				保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
護者への説明等	5	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	必要な場合は、療育時間以外で話を聞く時間を随時設ける。	18	1	3	2	療育時間内に保護者の相談に応じていますが、子どもと一緒にいない方が良い場合は申し出ていただければ別の日程を設定したり、電話での相談を行います。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	個別、グループの療育が中心のため、保護者会の開催が難しい。	7	1	12	5	保護者の方々の自由な意思にお任せしています。
	7	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	些細なことでも気になることある場合は、何時でも相談、苦情を受け付ける体制を整えてる。	16	1		8	苦情があれば申し出てください。お話をお聞きし、できる限りすぐに対応します。
	8	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	個別やグループ療育の中で、意思の疎通や情報の提供、また、欠席の場合は電話等で個別に対応している。	24			1	これからも、保護者の方のお話を丁寧にうかがうよう心がけます。
	9	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定などについて、子どもや保護者に対して発信しているか	社会福祉法人榎の木会のホームページに情報等を掲載。施設待合室の掲示板に随時必要な情報を掲示している。	18			7	見やすい掲示をしていきます。
	10	個人情報の取扱いに十分注意されているか	個人情報取扱規定に基づき、秘密の保持に努めている。	23	1		1	これからも十分注意していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価				保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	
非常時等の 対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	保護者へ掲示などを通じ知らせる。	24	1		3	これからも注意喚起を行います。
			<ul style="list-style-type: none"> ・待合室の掲示板をチェックしている。 ・電話で現状確認、欠席確認してくれる。 				
	2 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	避難訓練時に登園している時は参加する。	10		1	14	避難訓練の時間に来られた時にご参加ください。
			<ul style="list-style-type: none"> ・まだ参加した事がないので分からない。 				
	3 虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応		/				継続して取り組んでいきます。
	4 やむを得ず身体的拘束を行う場合における組織的な決定と子どもや保護者に事前に十分に説明、了承を得たうえでの児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	保護者同伴の療育であり、現状では必要な場面はない。職員が保護者へ虐待について指導するうえで必要な研修を行っている。	/				
5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	食事等の提供はない。	/				必要な時は実施します。	
6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハットの事例があった場合は、速やかに職員間で共有し対処するようにしている。	/				継続して取り組んでいきます。	